

用語解説

用語	解説	掲載ページ
義務教育学校	学校教育法の改正により、2016年（平成28年）4月から制度化された、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う新たな学校の種類。義務教育9年間の教育目標を設定し、柔軟な教育課程を編成することが可能。	5 27
福山学校元気大賞	2015年度（平成27年度）に創設した、市教育委員会による取組の過程に着目する表彰制度。毎年2月に表彰する大賞・優秀賞・奨励賞・特別賞と、市民や学校からの推薦を受け、随時表彰する4つの部門賞「①児童生徒が社会や他者のために主体的に貢献した活動」「②教職員が児童生徒のやる気や元気を引き出した言葉や取組」「③子どもたちの育成に向け学校と地域が一丸となった取り組みや地域の方の協力」「④関係者が一緒になって挑戦したり取組を継続したりして達成した快挙や記録」で構成。	6 22 23 24
幼保小連携	子どもの生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえ、就学前施設から小学校での学習や生活への移行を円滑に行えるよう、子どもの交流活動や指導者同士の相互理解を通じて、就学前教育と小学校教育の段差の解消を図り教育の一貫性を高める取組。	10 11
アプローチカリキュラム	就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で活かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラム。	10
スタートカリキュラム	小学校へ入学した子どもが、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。	10
幼保連携型認定こども園	幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、就学前の子どもの教育・保育・子育て支援を一体的に提供する施設。	12
21世紀型 “スキル&倫理観”	変化の激しい先行き不透明な社会に必要な、課題発見・解決力、挑戦する力、粘り強さ・忍耐力、コミュニケーション能力などの資質・能力の本市教育委員会における総称。	13 15 16 21 22 23 24
カリキュラム・マップ	学習内容の順次性、各教科等間、各教科と行事等との関連性を図示化し、育成する資質・能力と学ぶべき教育内容の全体像を見渡すことができる教育計画。	13 15 20 21 23 24 28

用語	解説	掲載ページ
「学びづくりフロンティア校」事業	「小学校入学時、既に身に付けている力に差がある」ことを前提に、すべての子どもたちに確かな学力を付けるために、学力の基盤となる「言葉」や「数」を理解・獲得する過程を明らかにする事業。	14 15
E S Dの観点	E S Dの実施に特に重要となる次の2つの観点。 ①人格の発達や自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと ②他人や社会、自然環境との関係性を認識し、関わりつながり尊重できる個人を育むこと ※E S D 「Education for Sustainable Development」の略で、持続可能な発展のための教育（持続発展教育）。	17
「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン	「子ども主体の学び」の実現に向け、各校の授業の現状を踏まえてめざす授業の姿を設定するとともに、具体的な取組等を明らかにし、全教職員で実施・評価・改善していくための計画。	17 21 23
アクティブ・ラーニング	教師による一方的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な参加を取り入れた学習法の総称。	17
地域課題解決プロジェクト	福山高校4年生が、「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」等の実地見聞を伴う体験的な学習を通して、課題解決に取り組む基礎を育成するとともに、地元企業を、高校生の目線で経営・技術・企業戦略の視点から研究するE S D重点校形成事業。 ※E S D重点校形成事業 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターが、文部科学省より委託を受けて行う事業で、教育を通じて持続可能な社会を構築するために、実践的な取組を行う意欲のある学校を公募、「サステイナブルスクール」として選定し、その取組を発展及び深化させるために必要な支援をするもの。	17
国際課題解決プロジェクト	福山高校5年生が、海外修学旅行先や姉妹校の中高生と共通課題について思考し、解決策を英語で提案（提言）するアクション型の交流活動を行うE S D重点校形成事業。	17
生き方・在り方探究プロジェクト	福山高校5・6年生が、自分自身の長所や魅力を発見し自尊心を高め、講演や特別活動での学びを活かしてライフプランを設定し、大学や社会でのよりよい「生き方・在り方」を考えるE S D重点校形成事業。	17
ポートフォリオ	児童生徒が作成した作文、作品、テスト、ノートなどの学習成果を長期にわたって収集したもの。	17
クラスルームイングリッシュ	授業中の指示や質問、日常的な挨拶など、学校生活の様々な場面で使用する英語のこと。	19

用語	解説	掲載ページ
ALT	「Assistant Language Teacher」の略。教師と協力してティーム・ティーチング（協同授業）等を行う外国語指導助手。	19
カリキュラム・マネジメント	教育課程に基づき、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。	20
学校関係者評価	保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、学校自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。	22 23
キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じて、キャリア発達を促す教育。	22 24
スクールサポートボランティア	登下校の見守り活動、総合的な時間での外部講師、本の読み聞かせ、学校図書の整理など、学校を支援する活動を行う地域住民や保護者のボランティア。	30
特別支援教育コーディネーター	各学校における特別支援教育の推進のため、主に校内委員会・校内研修の企画、関係諸機関・学校との連絡・調整、保護者からの相談窓口などの役割を担う教員のこと。	32
介助員	幼稚園・小中学校の特別支援学級に在籍する子どもたちに対して、基本的な生活習慣確立のための日常生活の指導の介助、学習の支援や、学校生活での健康、安全確保のための介助、幼稚園行事・学校行事における支援を行う職員のこと。	32 33
学校支援員	小中学校の通常の学級において、在籍する発達障害のある子どもたちに対し、担任の補助的な指導及び支援、通級的な指導及び支援を行う職員のこと。	32 33
「親の力」をまなびあう学習プログラム	家庭の教育力向上をめざして、子育てに必要な知識や技術そのものの習得ではなく、親が「自ら気づき、学ぶことができる力」を高めていくことも目的とした広島県教育委員会が作成した参加型の学習プログラム。	36 37 38 41 42 43
子育てサポーターリーダー	家庭や地域の教育力向上を目的とした出前講座の進行を行うスキルを学んだ、子育て支援活動を行うボランティア。	41 42 43
ふくやま人財大学	市民が受講を通じて、「地域活動に必要な知識・技術を学び」、「仲間同士のネットワークを広げ」、「自らの学びの成果を地域社会の中で活かすことができるようになること」を目的に開講されており、地域活動に関わる、教養、安心安全、環境、子育て応援の各コース・講座を設けている。	41 42

用語	解説	掲載ページ
人材バンク「福の山」	生涯学習に関する様々な知識や技能を持った人を人材バンクに登録し、市民の学習サークルや団体などへ講師として派遣することで、多様な学習活動を支援する本市の生涯学習講師派遣事業。	44
指定（文化財）	文化財保護法や地方自治体の条例により、保護の対象として文化財を指定する制度。有形文化財，無形文化財，民俗文化財，記念物の4分野があり，学術的・歴史的に貴重なもの。	45 46
登録（文化財）	指定制度よりも緩やかな保護措置を講じるもので、国や地方自治体が指定していない文化財のうち、保存と活用が必要なものを国が登録する。厳しい規制がある指定文化財と違い、届出制と指導・助言・勧告を基本として、所有者による自主的な保護を図り、指定制度を補完するもの。	45 46
福山市歴史文化基本構想	地域に存在する文化財を、指定、未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するための構想であり、本市が文化財保護行政を進める基本的なマスタープランとなるもの。	5 6 45 47 48 49